

SkillCompass(DSS-P版) 無償トライアル 実施概要について

2026年1月22日

株式会社富士通ラーニングメディア



1. SkillCompass(DSS-P版)ご紹介
2. SkillCompass(DSS-P版)申込手続

1. SkillCompass (DSS-P版) ご紹介

組織

DXと言える業務がまだない中で、
何から始めればよいか

誰をDX推進者にすべきか

そもそもデジタルスキルのある人材は
どのくらいいるのか

個人

自分が担えそうな役割は何か

どんな領域から学び始めればよいか

どの程度学べばよいか

個人や組織のデジタルスキルを可視化してみませんか？

(DXリテラシー、DX推進)

SkillCompass®（DSSアセスメント）とは

SkillCompass®（DSSアセスメント）は、DXを推進する人材に必要なスキルの保有状況を診断することにより、個人や組織のデジタルスキルを可視化します。以下2種類の診断サービスがあります。

無償トライアルキャンペーンは、DSS-P版が対象です。

サービス名称	対象者	診断内容
DSS-L版	全従業員向け	全従業員のDXリテラシー（基礎的なデジタル知識・活用力）を把握するための評価サービスです。組織全体のデジタル知識レベルを可視化できます。
DSS-P版	DX推進人材 （企画・推進、作る人） 向け	DXプロジェクトをリードできる人材（企画・推進、作る人）を育成・選抜するための評価サービスです。個人のDX推進スキルを可視化できます。

DXアセスメント組織レポート

アセスメント結果をもとに、各社員のスキルポートフォリオ（保有スキルの構成）を可視化します。可視化されたデータに基づき、個人や部門ごとの育成計画策定をサポートします。

1. 業界標準

業界標準のDXリテラシー標準やDX推進スキル標準をもとにスキル充足度を判定します。

2. テスト

テストを実施し結果に反映することで、客観性の高い数値化された診断結果を得られます。

3. 推奨研修を リコmend

診断結果に合わせて、スキルアップのための具体的な手段が提示されることで、学習に向けた行動につながります。
※DSS-P版のみ

4. 管理者機能

進捗状況の表示や診断結果の参照、スキル保有状況の検索ができます。

5. 組織レポート

診断結果を組織別に集計したレポートを確認できます。

■ DX推進スキル標準（DSS-P）の構成

「DX推進スキル標準（DSS-P）」は、企業や組織のDXの推進において必要な人材を、5つの「人材類型」、15のロールに区分して定義している。
各ロールに必要なスキルを、全人材類型に共通の「共通スキルリスト」から重要度を付けて定義している。

人材類型			ビジネスアーキテクト			デザイナー			データサイエンティスト			ソフトウェアエンジニア			サイバーセキュリティ		
ロール (DXの推進において担う責任、 主な業務、必要なスキルにより定義)			ビジネスアーキテクト (新規事業開発)			サードパーティデザイナー UX/UIデザイナー グラフィックデザイナー			データサイエンティスト データビジネス プロフェッショナル データエンジニア			ソフトウェアエンジニア フロントエンドエンジニア バックエンドエンジニア クラウドエンジニア インフラエンジニア			サイバーセキュリティ サイバーセキュリティ サイバーセキュリティ サイバーセキュリティ		
共通スキルリスト	ビジネスイノベーション	スキル項目	各 ロ ー ル に 必 要 な ス キ ル														
	データ活用	スキル項目															
	テクノロジー	スキル項目		・	・	・	・	全人材類型に共通の 「共通スキルリスト」から 各ロールに必要なスキルを定義									
	セキュリティ	スキル項目															
	パーソナルスキル	スキル項目															

■ SkillCompass（DSS-P）の診断内容

- ・共通スキルリストのスキル項目について、自己評価とテストでレベルを判定
自己評価設問数：63問
テスト問題数：約90問
所要時間：約90分
- ・各ロールに求められるスキルに対する、スキルの充足度をレポートに表示
- ・スキルの充足度は、ロール毎に定義されたスキル項目の重要度を基に重みをつけて算出

出典：IPA、経済産業省「デジタルスキル標準Ver.1.2」

- 自己評価画面／テスト画面

SkillCompass®
マイページへ戻る ヘルプ ログアウト 診断 13 種

アンケート

- ☒ 【ビジネスアーキテクト】ビジネスアーキテクト（新規事業開発）
- ☒ 【ビジネスアーキテクト】ビジネスアーキテクト（既存事業の高度化）
- スキル調査**
 - ☒ ビジネス変革
 - ☐ データ活用
 - ☐ テクノロジー
 - ☐ セキュリティ
 - ☐ パーソナルスキル

スキル調査

必須入力状況 2 / 65

3%

ビジネス変革

あなたのスキルについて、あてはまるものを選択してください。

[スキルレベルの説明](#)

カテゴリ／評価項目	L0	L1	L2	L3	L4
戦略・マネジメント・システム					
ビジネス戦略策定・実行					
スタートアップ・エコシステム構築を含むビジネス戦略を策定し、プロダクト（製品・サービス）のポートフォリオマネジメントを行う	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
プロダクトマネジメント					
プロダクト（製品・サービス）のバリュープロポジションを定義し、価値提供によって収益を上げる方法、プロダクトそのもの、関連する	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

SkillCompass®
診断 13 種

8

ご参考) ロール別スキルの重要度

DSS-Pでは、各ロールに必要なスキルを、全人材類型に共通の「共通スキルリスト」から重要度をつけて定義している。

重要度の定義

a	高い実践力と専門性が必要
b	一定の実践力と専門性が必要
c	知識として説明可能なレベルでの理解が必要
d	体系として全体の中での位置づけや他項目との関連の理解が必要

例) ビジネスアーキテクト（新規事業開発）」ロールのスキルの重要度

必要なスキル	カテゴリー	サブカテゴリー	スキル項目	重要度	カテゴリー	サブカテゴリー	スキル項目	重要度	カテゴリー	サブカテゴリー	スキル項目	重要度
	ビジネス 変革	戦略・マネジメントシステム	ビジネス戦略策定・実行	a	データ活用	データ・AIの戦略的活用	データ理解・活用	b	テクノロジー	デジタルテクノロジー	フィジカルコンピューティング	c
			プロダクトマネジメント	a			データ・AI活用戦略	b			その他先端技術	d
			変革マネジメント	a			データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価	c			テクノロジートレンド	c
			システムズエンジニアリング	a		AI・データサイエンス	数理統計・多変量解析・データ可視化	d	セキュリティ	セキュリティマネジメント	セキュリティ体制構築・運営	d
			エンタープライズアーキテクチャ	a			機械学習・深層学習	d			セキュリティマネジメント	c
			プロジェクトマネジメント	b			データ活用基盤設計	d			インシデント対応と事業継続	c
		ビジネスモデル・プロセス	ビジネス調査	a	データエンジニアリング	データ活用基盤実装・運用	d	セキュリティ技術			プライバシー保護	b
			ビジネスモデル設計	a		コンピュータサイエンス	d		セキュア設計・開発・構築	d		
			ビジネスアナリシス	a	チーム開発	d	セキュリティ運用・保守・監視	d				
			検証（ビジネス視点）	a	ソフトウェア設計手法	d	パーソナルスキル	ヒューマンスキル	リーダーシップ	z		
			マーケティング	b	ソフトウェア開発プロセス	c			コラボレーション	z		
			ブランディング	b	Webアプリケーション基本技術	d			ゴール設定	z		
		デザイン	顧客・ユーザー理解	b	フロントエンドシステム開発	d			コンセンサススキル	創造的な問題解決	z	
			価値発見・定義	b	バックエンドシステム開発	d	批判的思考	z				
			設計	d	クラウドインフラ活用	d	適応力	z				
			検証（顧客・ユーザー視点）	c	SREプロセス	d						
			その他デザイン技術	d	サービス活用	d						

出典：IPA、経済産業省「デジタルスキル標準Ver.1.2」

出典：IPA、経済産業省「デジタルスキル標準Ver.1.2」

診断レポートイメージ（DSS-P）：個人レポート(1)

SkillCompass®

診断レポート履歴一覧 診断レポートについて ヘルプ ログアウト

診断レポート：DSS-P（DX推進人材向け）アセスメント 診断完了日:2025年09月09日

あなたのロールレベル

診断結果から判定された各ロールのスキル充足度です。
各ロールに求められるスキルに対する、あなたのスキルの充足度を表しています。
全てのスキル項目が、ロールに必要なレベル（重要度）を満たしていると100になります。
ロール毎に定義されたスキル項目の重要度を基に算出しています。

ロール	診断回	診断完了日	(C) ロール 区分	(B) 評価 ランク	(A) スキル 充足度 (%)	
【ビジネスアーキテクト】ビジネスアーキテクト（既存事業の高度化）	1回目	2025年09月09日	メイン	S	62.3	詳細
【デザイナー】サービスデザイナー	1回目	2025年09月09日	メイン	S	67.1	詳細
【デザイナー】UX/UIデザイナー	1回目	2025年09月09日	メイン	S	64.0	詳細
【データサイエンティスト】データエンジニア	1回目	2025年09月09日	サブ	A	48.1	詳細
【サイバーセキュリティ】サイバーセキュリティマネージャー	1回目	2025年09月09日	サブ	A	57.4	詳細

[マイページへ戻る](#) [戻る](#)

(A)各ロールに求められるスキルに対する、あなたのスキルの充足度を表しています。全てのスキル項目が、ロールに必要なレベル（重要度）を満たしていると100になります。ロール毎に定義されたスキル項目の重要度を基に算出しています。

「詳細」をクリックすると、各ロールの診断レポートが表示されます。
診断レポートの内容は、次ページを参照ください。

(B)評価ランクで、スキル充足度を以下の5段階で表しています。
SS:80より大きく100以下
S : 60より大きく80以下
A : 40より大きく60以下
B : 20より大きく40以下
C : 0以上20以下

(C)ロール選択画面であなたが選択した区分です。
メイン：あなたの現在の業務に近いロール
サブ：あなたが今後目指したいロール

診断レポートイメージ (DSS-P) : 個人レポート(2)

【ビジネスアーキテクト】ビジネスアーキテクト (既存事業の高度化)

このページを印刷する

(A)

62.3%

評価ランク：S

総評コメント

良好な結果です。基礎から応用まで幅広くスキルを発揮できており、バランスの取れた力を持っていることが示されています。全体として高いレベルに到達していますが、さらなる成長のためには、得意分野を活かしながら改善余地のある部分を重点的に伸ばすと効果的です。強みや課題の詳細は結果欄に示されていますので、参考にしながら自分のスキルセットをより磨き上げていきましょう。

(B)

カテゴリー別サマリ

ビジネス変革

64.7%

64.7%

データ活用

57.0%

57.0%

テクノロジー

29.2%

29.2%

セキュリティ

80.0%

80.0%

パーソナルスキル

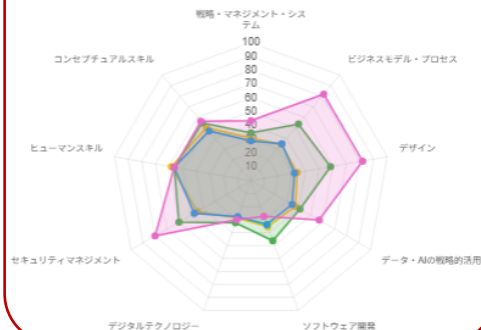
56.3%

56.3%

(C)

サブカテゴリー別スコア比較

個人 部門平均 会社平均 全国平均



(A) このロールに求められるスキルに対するあなたのスキルの充足度と評価ランクと総評コメントとなります。

(B) カテゴリー別のスキル充足度が表示されます。カテゴリーに必要なレベル（重要度）を満たしていると100になります。ロール毎に定義されたスキル項目の重要度を基に算出しています。

(C) サブカテゴリー別のスキル充足度が表示されます。部門平均、会社平均、全国平均と比較できます。サブカテゴリーに必要なレベル（重要度）を満たしていると100になります。ロール毎に定義されたスキル項目の重要度を基に算出しています。

● 診断レポートに、受診者のレベルに応じたお薦め研修を表示

スキル項目の詳細評価

カテゴリー	カテゴリー 評価値	サブカテゴリー	サブカテゴリー 評価値	スキル項目	重要 度	スキル 評価 値	自己 評価	テスト 結果	会社 平均	部門 平均	会社平均比較	部門平均比較	推奨カリキュラム
ビジネス変革													
ビジネス変革	40.5	戦略・マネジメント・システム	46.3	プロダクトマネジメント	c	3.2	2.0	4.0	1.8	1.6	1.4	1.6	📖 参照
				変革マネジメント	c	1.4	2.0	1.0	1.8	1.4	-0.4	0.0	
				システムズエンジニアリング	c	1.4	2.0	1.0	1.8	1.4	-0.4	0.0	
		ビジネスモデル・プロセス	38.3	プロジェクトマネジメント	c	1.4	2.0	1.0	2.0	1.7	-0.6	-0.3	📖 参照
				ビジネスモデル設計	c	1.4	2.0	1.0	1.8	1.5	-0.4	-0.1	
				ビジネスアナリシス	c	1.4	2.0	1.0	1.8	1.5	-0.4	-0.1	
				検証（ビジネス視点）	c	1.8	3.0	1.0	1.9	1.6	-0.1	0.2	
				顧客・ユーザー理解	c	1.6	2.5	1.0	1.9	1.7	-0.3	-0.1	
				価値発見・定義	c	1.4	2.0	1.0	1.9	1.8	-0.5	-0.4	
				検証（顧客・ユーザー視点）	b	1.4	2.0	1.0	1.9	1.7	-0.5	-0.3	
デザイン	36.3											📖 参照	
データ活用													
データ活用	36.5	データ・AIの戦略的活用	68.0	データ理解・活用	b	3.2	2.0	4.0	2.4	2.3	0.8	0.9	📖 参照
				データ・AI活用戦略	c	2.4	0.0	4.0	2.3	2.0	0.1	0.4	
				データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価	b	2.4	0.0	4.0	2.3	2.1	0.1	0.3	
		AI・データサイエンス	20.0	数理統計・多変量解析・データ可視化	a	1.0	1.0	1.0	1.6	1.3	-0.6	-0.3	📖 参照
				機械学習・深層学習	a	0.6	0.0	1.0	1.6	1.3	-1.0	-0.7	

スキルアップに役立つ
推奨カリキュラム(研修コース)を表示。
例) レベル1台の人にはレベル2を目指すコースを表示
レベル0台の人にはレベル1を目指すコースを表示

推奨カリキュラム

ビジネスモデル・プロセス

Lv 1.5

レベル1.5

- UAM08L【集合】ローコードを用いた業務改善実践ワークショップ
- UAM34L【集合】カスタマージャーニーマップによる価値提案の描き方
- UAM50L【集合】ビジネスモデルの基本
- UDX06L【集合】DXを推進するための部門業務の可視化技術

AI・データサイエンス

Lv 0.8

レベル0.8

- UAI24B【eラーニング】ビジネスパーソンのための生成AIリテラシー
- UOL26B【オンデマンド実習】Pythonによるデータアナリティクス Python基本文法編
- UOL36B【オンデマンド実習】データサイエンスドリル
- UOL50B【オンデマンド実習】自然言語処理入門～アンケート分析で学ぶ～
- UOL65B【オンデマンド実習】動かして学ぶ！AIのための基礎数学

組織レポートイメージ（DSS-P）：管理者向け機能

● DXアセスメント組織レポート

組織のアセスメント結果を集計し、部門別比較や、部門・ロール別ポートフォリオを表示します。

【部門別経年変化とランキング】



【部門・ロール別ポートフォリオ】



組織レポートイメージ（DSS-P）：管理者向け機能

● DXアセスメント組織レポート

組織のアセスメント結果を集計し、部門別比較や、部門・ロール別ポートフォリオを表示します。

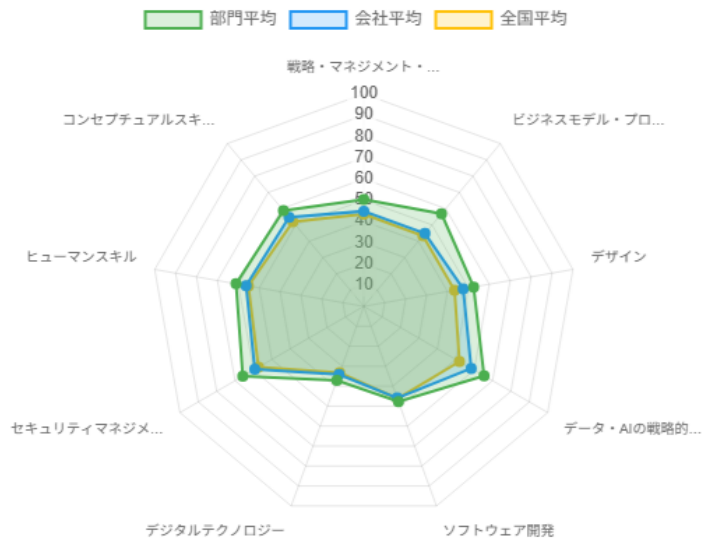
【ロール分布/部門別の詳細評価】

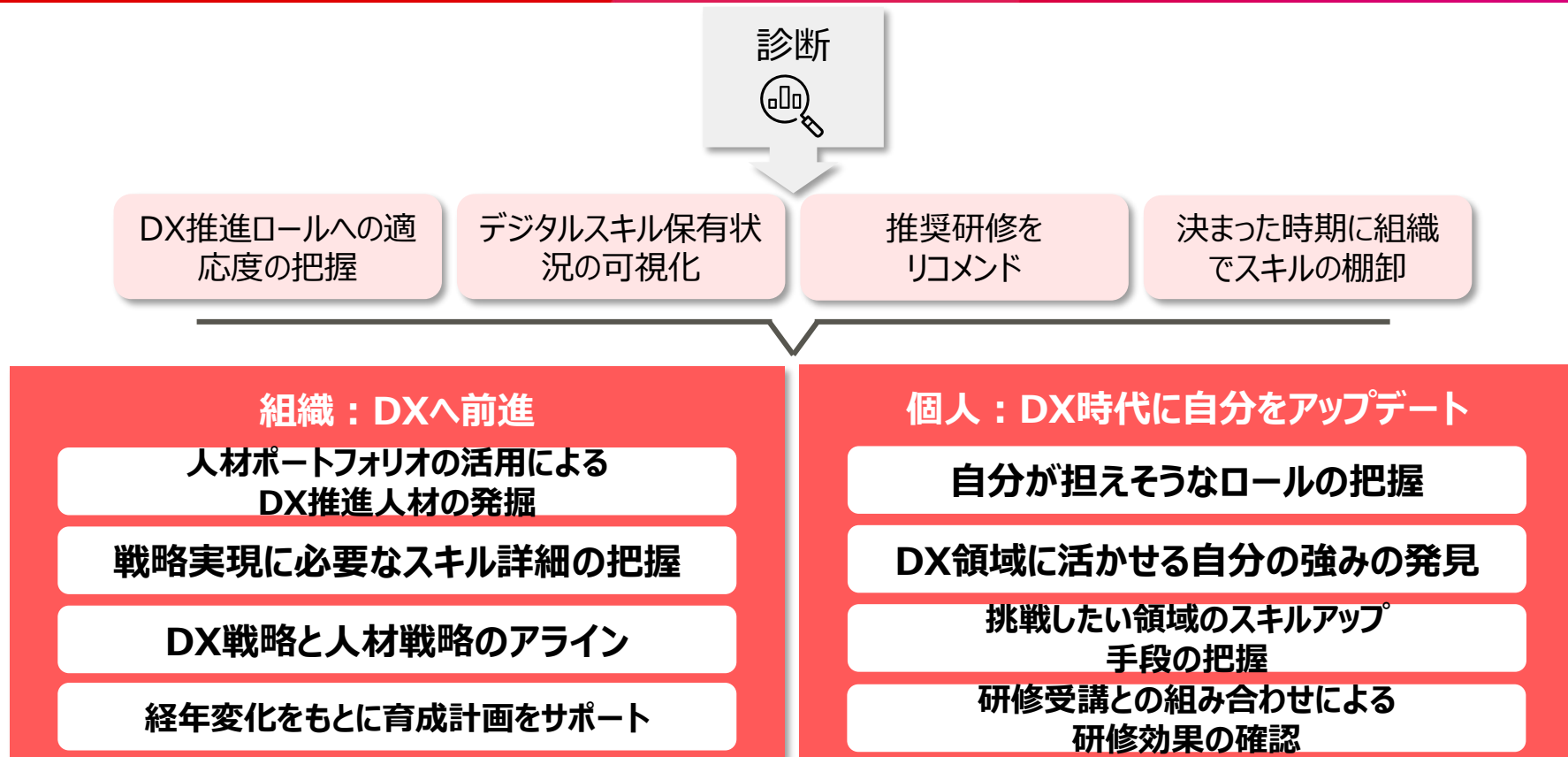
ロール分布（選択部門）

ロール名	SS	S	A	B	C
【ビジネスアーキテクト】ビジネスアーキテクト（新規事業...）	1	5	3	3	1
【ビジネスアーキテクト】ビジネスアーキテクト（既存事業...）	3	2	3	3	2
【ビジネスアーキテクト】ビジネスアーキテクト（社内業務...）	2	1	3	4	2
【デザイナー】サービスデザイナー	1	1	2	2	1
【デザイナー】UX/UIデザイナー		1			1
【デザイナー】グラフィックデザイナー		1			1
【データサイエンティスト】データビジネスストラテジスト			1	1	1
【データサイエンティスト】データサイエンスプロフェッ...	2	1	1	2	1
【データサイエンティスト】データエンジニア				2	1
【ソフトウェアエンジニア】フロントエンドエンジニア		1	1	2	1
【ソフトウェアエンジニア】バックエンドエンジニア		2	1	1	1
【ソフトウェアエンジニア】クラウドエンジニア/SRE			1	1	1
【ソフトウェアエンジニア】フィジカルコンピューティング...					1
【サイバーセキュリティ】サイバーセキュリティマネージャー	1		1		1
【サイバーセキュリティ】サイバーセキュリティエンジニア			2	2	1

部門別の詳細評価

【ビジネスアーキテクト】ビジネスアーキテクト（新規事業開発）





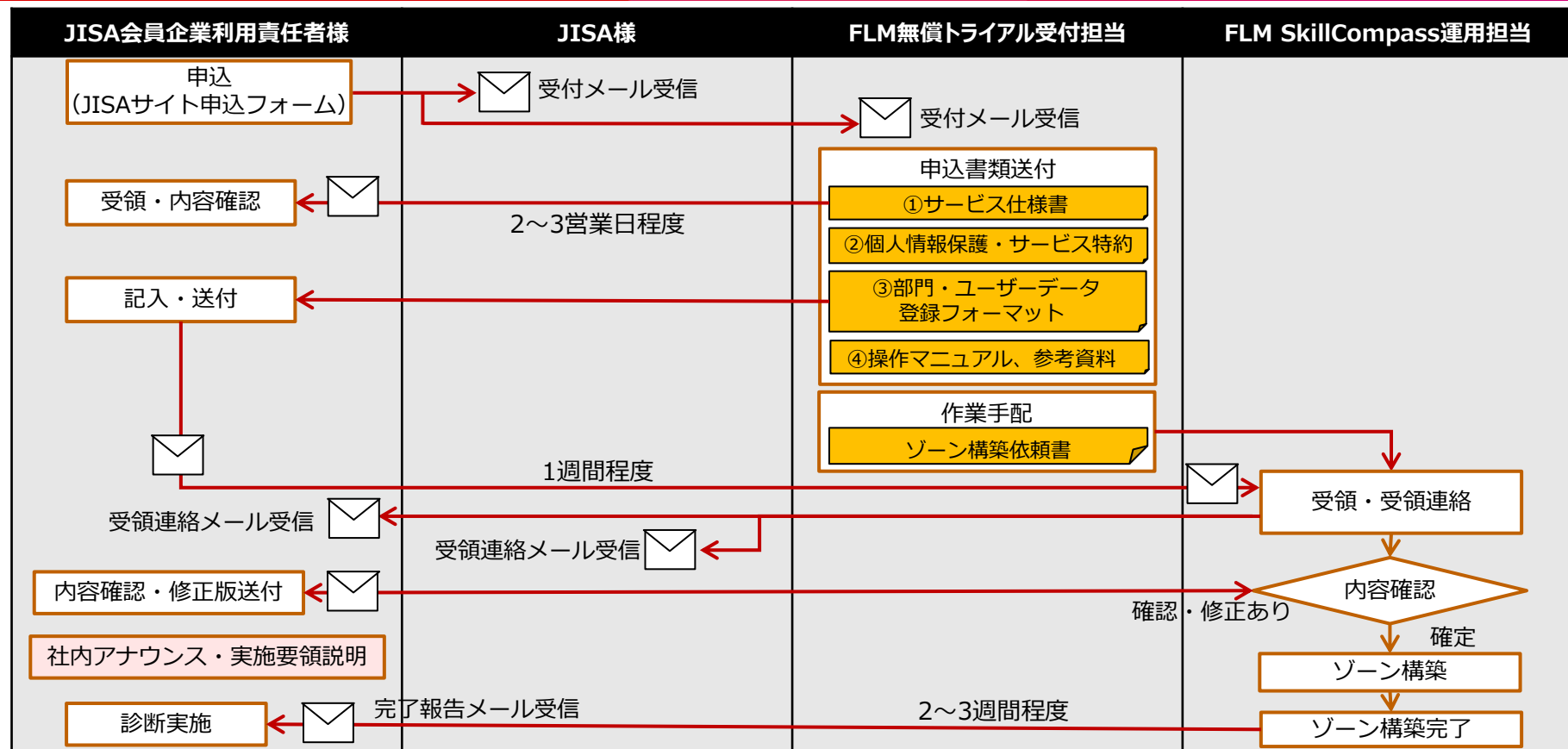
2. SkillCompass(DSS-P版)申込手続

無償トライアルキャンペーン実施概要

- 対象者 : 一般社団法人情報サービス産業協会（JISA）※JISA会員限定
- 申込期間 : 2026年1月22日 ~ 6月30日
※利用開始は申込後、約1か月後からとなります。
- 内容 : DX推進人材向けスキル診断「SkillCompass®（DSS-P版）」を初回限定で無償提供。
通常価格：8,000円／名（税別）※DSS-L版は対象外となります。
- 診断方法 : Web診断（所要時間：約90分）
- 利用期間 : 利用開始日から1年間（利用期間内に1IDにつき1回診断可能）
- 申込方法 : 下記、専用フォームよりお申込みください。

<https://www.jisa.or.jp/tabid/4051/Default.aspx>

SkillCompass無償トライアル申込手順フロー



申込フォーム 記入項目の補足説明

- 申込フォームURL
<https://www.jisa.or.jp/tabid/4051/Default.aspx>

利用責任者様の連絡先を記入してください。
2～3営業日後に申込書類を送付させていただきます。

企業ID：
SkillCompassログイン時に入力いただく各社
固有のIDです。
半角英数8文字以内でご指定ください。

利用開始希望日：
利用開始までの準備期間を見込み、お申込み
から1か月以降を目安にご記入ください。

※の項目は必ず入力してください。

会社名・団体名 ※	<input type="text"/> (例：株式会社〇〇)
所属部署 ※	<input type="text"/> (例：情報サービス部)
利用責任者 (全角入力) ※	<input type="text"/> (例：情報太郎)
お電話番号 ※	<input type="text"/> (例：03-6214-1121)
メールアドレス (半角入力) ※	<input type="text"/> (例：aaa@example.co.jp)
メールアドレス再入力 (半角入力) ※	<input type="text"/> (例：aaa@example.co.jp)
企業ID (半角英数8文字以内) ※	<input type="text"/> 例：abcd123
ユーザー数 ※	<input type="text"/> ※現時点のご希望数で結構です
利用開始希望日 ※	※お申込みから1か月以降を目安でご記入ください <input type="text"/>
ご要望・ご質問	600文字以内でお願います。 <input type="text"/>
個人情報の取り扱いについて ※	詳細は こちら をご参照ください。 <input type="checkbox"/> 同意する

- 申込フォームからのお申込み受付後、2～3営業日後を目安に富士通ラーニングメディアから下記の申込書類をEメールで送付いたします。

書類名	概要	問合せ先
①サービス仕様書 ②個人情報保護・サービス特約	今回の診断サービス仕様について、まとめた資料です。 利用いただくサービスの基本仕様と、申込情報をもとに 設定した各社固有のシステム設定情報を記載しています。 各社固有のシステム設定情報に誤りがないか、ご確認ください。	FLM無償トライアル受付担当 flm-jisaekl@cs.jp.fujitsu.com
③部門・ユーザーデータ登録フォーマット	SkillCompassの利用者情報を記入するシートです。 本フォーマットに必要事項を記入し、下記送付先に返 送ください。 flm-compass@csc.flm.fujitsu.com	FLMスキル診断運用担当窓口 flm-compass@csc.flm.fujitsu.com
④操作マニュアル、参考資料	SkillCompassの操作手順や診断結果の説明資料で す。 社内へのアナウンス、実施要領の案内にご利用ください。	

- 確認いただきたい箇所

【ゾーン設定情報】←

設定項目	設定内容
診断サービス名	DSS-L ・DSS-P / DSS-L (DSS-P)
URL	https://skc.knowledgewing.com/login
利用回数	1 回
企業 ID	●●●● (半角英数 8 文字以内)
企業名 (画面表示用)	●●●●
e-mail 機能の使用	あり / なし
環境設定実施期間 (注 5)	●●●● 年 ● 月 ● 日 ~ ●●●● 年 ● 月 ● 日
サービス利用期間	●●●● 年 ● 月 ● 日 ~ ●●●● 年 ● 月 ● 日
診断実施期間	●●●● 年 ● 月 ● 日 ~ ●●●● 年 ● 月 ● 日
テストの実施	あり
テスト中断回数	1ID につき 9 回
診断結果一覧ダウンロード機能	あり / なし
個社ロール登録 (オプション) (注 6)	あり / なし
MFA (多要素認証) (オプション)	あり / なし

7.お客様利用責任者

会社名 [↵]	●●●●●●●●●●●●●●●● [↵]
部署名 [↵]	●●●●●●●●●●●●●●●● [↵]
担当者名 [↵]	●●●●●●●●●●●●●●●● [↵]
TEL [↵]	●●●●●●●●●●●●●●●● [↵]
e-mail [↵]	●●●●●●●●●●●●●●●● [↵]

赤字箇所：各社固有の情報です。申込フォームの記載内容をもとに記載します。

黒字箇所：無償トライアルの共通サービス仕様です。

申込書類に関する留意点 ③部門・ユーザーデータ登録フォーマット FUJITSU

- SkillCompassの利用者情報を記入するシートです。「部門データ」と「ユーザーデータ」の2シートあります。本フォーマットに必要事項を記入し、下記の送付・問い合わせ先に返送ください。
 - 個人情報を含む内容のため、暗号化ファイル転送サービスの利用や、暗号化したファイルをメール添付する等、セキュリティ対応をお願いします。
 - JISA様、FLM無償トライアル受付担当へのCC:は不要です。
- 記入項目の詳細は、「部門・ユーザーデータ登録フォーマット」の各シートに記載しております。
 - 記入した項目にエラーがある場合は、「参照_チェック欄」シートを参考に修正してください。
 - 不明点がありましたら下記の送付・問い合わせ先にご連絡ください。

送付・問い合わせ先：FLMスキル診断運用担当窓口（flm-compass@csc.flm.fujitsu.com）

● 「部門データ」シートの記入ポイント

2. 入力方法

質問	回答
依頼作業を選択してください。	利用開始準備(ゾーン構築)

※1 種別の内容に従って登録します。対象部門は、全項目の情報をご記入ください。

無償トライアル用に記入済です。
変更しないでください。

※4 ゾーン構築後に利用者情報更新で部門を追加・変更するには、下記のように部門データシートへ記入します。

- ・今まで登録されていない部門を追加する場合は、「追加」にします。
・登録済み部門の部門コードを付け替える場合の種別は、「変更」としないでください。既存の部門は「削除」、付け替える部門を「追加」としてください。
なお、部門コード以外の項目(部門名等)は「変更」可能です。

No	種別	部門コード	部門名	上位部門コード	チェック結果	備考	備考欄
例1		000000	A事業部		OK	ROOT部門	
例2		000001	B部	000000	OK	上位部門:A事業部	
例3		000002	C部	000000	OK	上位部門:A事業部	
例4	削除	000003	Dチーム	000001	OK	上位部門:B部	
例5	追加	000004	Eチーム	000001	OK	上位部門:B部	
例6	変更	000005	Fチーム	000002	OK	上位部門:C部	

OKの数:0

CHKの数:0

~~OKSOLINKO 합회~~

3. 部門データ入力

[illegible][illegible]

申込書類に関する留意点

③部門・ユーザーデータ登録フォーマット



● 「ユーザデータ」シートの記入ポイント

2. 入力方法

質問	回答
依頼作業を選択してください。	利用開始準備(ゾーン構築)

無償トライアル用に記入済です。
変更しないでください。

※1種別の内容に従って登録します。対象ユーザは、全項目の情報をご記入ください。

※4 ユーザを削除する場合は、種別を「削除」とし、それ以外の項目は消去しないでください。

No	種別	ユーザID	パスワード	Eメールアドレス	姓	名	年齢	部門コード	上司ユーザID	社員番号	自己権限	管理権限	上司権限	チェック結果	部門名	上司チェック結果	上司名	スキル標準選択	備考欄
例1		a0001	pass-a0001	aaaa@ccc.yy.zz	富士通	太郎	55	000000		2xxxxxx5		○		OK	A事業部				
例2	追加	a0002	pass-a0002	bbbb@ccc.yy.zz	富士通	次郎	43	000001		3xxxxxx6	○	○		OK	B部				
例3	変更	a0003	pass-a0003	cccc@ccc.yy.zz	富士通	三郎	29	000002		5xxxxxx8				OK	C部				
例4	削除	a0004	pass-a0004	dddd@ccc.yy.zz	富士通	四郎	29	000002		5xxxxxx8	○			OK	C部				

3. ユーザデータ入力

ご利用される機能に合わせて説明、チェック項目を切り替えます。質問に対する回答を、プルダウンからお選びください。※貴社のご利用機能は、別紙「サービス仕様書」にてご確認頂きます。

質問	回答
スキル標準は、何を利用されますか？	DSS-P
Eメール機能を使用されますか？	はい
上司評価を実施されますか？	いいえ
診断するスキル標準は全員同じですか？	全員同じ

無償トライアル用に記入済です。
変更しないでください。

データ件数:0

OKの数: 0
CHKの数: 0
OKとCHKの合計: 0

[illegible]

記入例を参考に赤枠内を記入してください。
グレーのセルは記入不要です。

チェック結果がエラーの場合は修正してください。

- 診断開始までに、社内へのアナウンス、実施要領の説明をお願いします。
申込書類と一緒に、操作マニュアルや参考資料（実施要綱テンプレート、診断結果の見方）をお送りします。社内への説明にご利用ください。

【受診者向け資料】

- 診断実施要綱テンプレート（次ページ参照）
- 診断の手引き
- 診断レポートの見方
- 診断レポートサンプル

【管理者向け資料】

- 管理機能マニュアル
- 診断結果一覧データ説明書

- 説明会開催時に説明する主な内容をまとめたテンプレートです。自社にてご記入の上、活用ください。

●年度 スキル診断実施要綱①

1. 実施要綱

（１）スキル診断の目的

貴社におけるスキル診断の目的を記載してください。以下は例文です。

①個人の目的

- ・スキル診断結果を基に上司面談を実施し、DX領域に活かせる自分の強みや課題を発見する。
今年度のスキル開発の振り返りと次年度の目標設定をおこなう。

②組織の目的

- ・組織全体のスキルの保有状況を調査・分析し、人材育成計画および人材育成体系の見直しと改善をおこなう。

（２）診断対象者

スキル診断の対象者を記載してください。

例）全社員／入社2年目～課長職まで／情報システム部および営業部の部長職以下 など

（３）スケジュール

事前説明会	●月●日
スキル診断（自己評価～テスト）	●月●日 ～ ●月●日
診断結果参照	●月●日 ～

（４）スキル診断の運用と診断結果の活用について

スキル診断の運用方針や診断結果の活用方法について、特記すべき事項があれば記載してください。

目的の説明時は、
ぜひモチベーションへの働きかけを
意識してご発信ください。

●年度 スキル診断実施要綱②



2. スキル診断の入力について

スキル診断における各項目の入力については、以下にしたがってください。

ログイン画面のURL	https://skc.knowledgewing.com/login
企業ID	XXXX
ユーザID	受診者へのユーザIDの連絡方法を入力してください。
パスワード	受診者へのパスワードの連絡方法を入力してください。
ロール	貴社のロール選択のルールがあれば入力してください。以下は例文です。 例）・メインロール・・・現在の業務に近いロールを選択する。 ・サブロール・・・今後目指したいロールを選択する。 ロールは複数選択可能です。

3. お問い合わせ先

●●部 ●●宛までご連絡ください。

E-Mail : XXXXXXXX@XXXX

- ・「部門・ユーザー登録フォーマット」に記入されたID、パスワードをご連絡ください。
- ・システム自動配信メールでのID/パスワード通知はございません。自社内で通知をお願いします。

(ご参考) 診断結果を効果的に活用するためのポイント

1 導入および実施目的を明確にする。

- 診断を実施する目的（人材育成、人事考課、経営戦略への活用）の優先順位を明確にする。

2 現場への事前説明会を必ず実施する。

- 説明会では、診断の目的／方針／運用ルール／注意点／問い合わせ窓口等をアナウンスする。
- 診断に対する理解度や意識付け（モチベーション）によって診断結果の精度が大きく左右されるため、事前説明会は重要である。

3 診断結果を全社・部門・個人のPDCAサイクルの中で活用する。

- 診断結果（診断レポート）は、上司とメンバーとのコミュニケーションツールとして、面談での活用すると効果的である。
- 診断結果は、全社/部門別、職種別、専門分野別、階層別、経験年次別、同業種・業態の他社の診断結果との比較など、多岐にわたる分析により、目に見えなかった様々な事実が浮かび上がる。

4 継続的・定期的な診断を実施し、成長度合いを確認する。

- 一過性にならないために、継続的に運用できるような仕組みや、その推進者の育成も大切である。
- 1年に1回など定期的に診断を実施して学習の効果を目に見える形で提供することが、能力開発に対するモチベーションの向上につながる。

Thank you

